

## 2-4 現状と課題（維持管理①）

### 治水①

- (1) 河道の維持管理：河川は様々な要因、時間スケールで状態が変化する自然公物であり、治水・利水・環境という目的に応じて機能を確保する必要がある。
- (2) 河川管理施設の機能の維持：堤防等の機能確保や、老朽化した水門・樋管・排水機場の修繕・更新とこれに伴う費用の急増等が課題である。

#### (1) 河道の維持管理



樹林化による洪水流の阻害

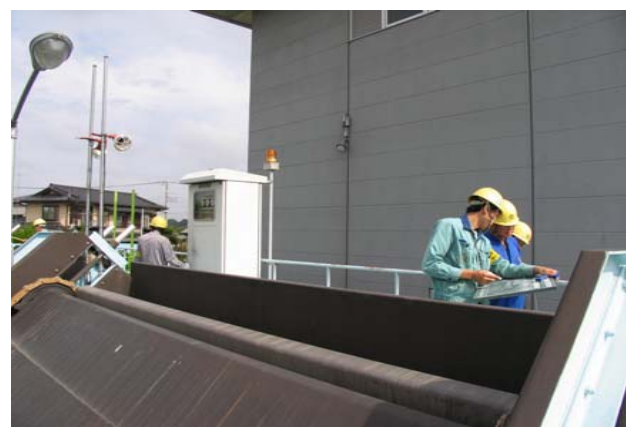


河岸侵食

#### (2) 河川管理施設の機能の維持



堤防の機能確



老朽化施設の増大  
(施設点検状況、老朽樋管)



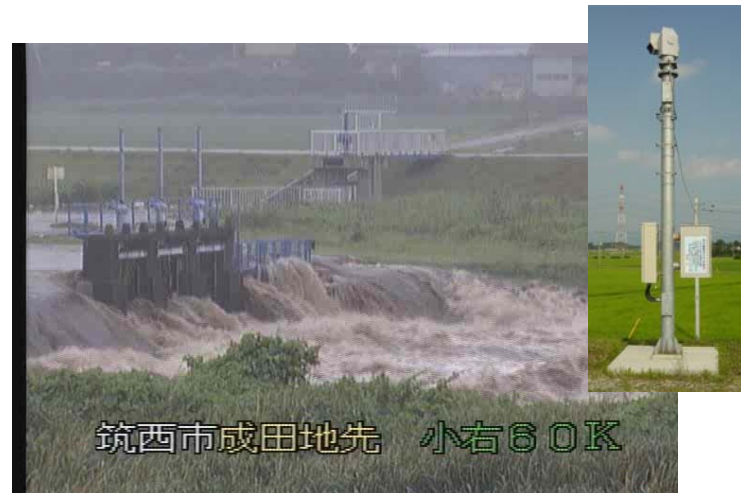
ゲート・ポンプの確実な操作

## 2-4 現状と課題（維持管理②）

### 治水②

- (3) 防災施設の整備と活用：洪水や地震等の災害時に状況を把握し、被害の拡大防止が必要である。雨量・水位等の状況を把握し、他機関と連携した危機管理が必要である。
- (4) 防災情報の共有、地域との連携：河川管理者と市町村や地域住民との情報共有化や避難行動支援のための体制確保するとともに、洪水時に水防警報、洪水予報等の情報を迅速かつ的確に発信することが必要である。

#### (3) 防災施設の整備と活用



洪水の状況把握  
(水位・流量観測所、CCTVカメラによる洪水監視状況)

防災拠点の確保  
(河川防災ステーション)

緊急時の輸送路の確保  
(車両交換場所)

#### (4) 防災情報の共有、地域との連携



災害発生時の情報発信  
(災害対策機器)



被害軽減対策  
(排水ポンプ車稼働状況)



防災情報の共有  
(光ファイバーネットワーク網)



地域防災力の支援  
(合同巡視状況)

## 2-4 現状と課題（維持管理③）

### 利水・水質

- (1) 渇水への対応: 渇水に対しては、状況に応じて、関係利水者等で構成する渇水対策のための協議会を開催している。
- (2) 水質事故への対応: 水質事故時には、関係機関に速やかに通報・連絡すると共に、連携して適切に対応している。

#### (1) 渇水への対応



渇水の状況  
(瀬切れ状況)



渇水時の対策  
(渇水対策のための協議会)

#### (2) 水質事故への対応



水質事故の状況  
(オイルフェンスの設置)

### 環境

- (1) 河川環境の把握: 継続的な河川環境のモニタリングを実施している。
- (2) 不法投棄: 河川区域への不法投棄が後を絶たない。
- (3) 地域連携: 地域社会と河川とのかかわりの再構築・河川愛護意識の啓発を実施している。

#### (1) 河川環境の把握



河川環境のモニタリング

#### (2) 不法投棄



悪質なゴミの不法投棄

#### (3) 地域連携



住民との協働による希少生物保護  
(高水敷の野焼き)



河川敷の清掃活動  
(鬼怒川・小貝川クリーン大作戦)